

名教スタッフ版

よめよめグランプリ

名前
なまえ

西川 陽祐

よ ほん
読んだ本について書いてみよう。

ひ づけ
日付
5 12
日 月

ページ数
すう
↑ 2
ジ 1
4

ほん だいいい
本の題名

数字のラソを見抜く

ほん さくしゃ
本の作者

野口哲典

わたし ほん
私のおすすめの本を、紹介します。

年末ジャンボ宝くじの季節ですね。みなさんや家族の人の中にも、宝くじを買ったり、もったりする人がいるでしょう。突然ですが、問題です。

「1」に3枚の宝くじがあります。

「01組123456」

「91組105472」

「11組111111」

「1」の中から1枚をピックアップします。

あなたなら、どれがほしい？ もしかしたら、1等の1億円があたるかも…。

どれを選びましたか？ 多くの人は、「91組105472」を選びました。なぜなら、他の2枚は、番号が特徴的で特別な気がして、それは当たらない気がするからでしょう。でも、よく考えてみてください。どの番号も、1000万枚のうち1枚です。当たる確率は、

どんな番号でも、1000万枚に1枚しかない特別な番号と同じです。ですから、当たる確率も10000

万分の1です。数字が規則的に並んでいるか、そうでないかという違いはありますが、当たりやすい当たりにくいという面では同じです。と、頭で理解できて、やはり、「91組105472」が一番当たりやすい気がしますよね。不思議な感じですが、今回紹介するこの本には、「1」という数字のからくりがたくさん載っています。大学の数学科を卒業した先輩が、数字に弱い新入社員に、数のトリックを紹介していて、大変読みやすくなっています。

皆さんから、「数学なんて将来役に立たないでしょ」と言われることがよくあります。これを読めば、数学を身近に感じ、数学のおもしろさを感じられるでしょう。学校では、小5で「割合」、小6で「場合の数」、中1で「方程式」、中2や高校で「確率」を学習します。それらの単元で習う数学を使っているのが、中高生や大人におすすめの1冊です。中に少しだけ大人向けの内容もあります。(

ぜひ、読んでみてください。